

能力開発セミナー受講者への情報提供 － プレトレーニング・Web Q&A －

1. はじめに

当センターでは、在職者を対象として、毎年数多くのセミナーを開催しています。セミナーが年々、より専門的で、より高度な技術内容へと移り変わっていくなか、セミナーが受講者にとって、効果的・効率的に開催されることは非常に重要になってきています。セミナーの訓練内容は受講者の目的に合っているのか、また訓練を受けるに当たって受講者のスキルはクリアしているのか等、セミナーを受講する事前にチェックできることが受講者にとっての訓練効果をさらに高め、訓練をより効果的にするために大切です。

当センターでは、セミナーを受講する前に、セミナーの内容や事前に必要とされる受講者のスキルを

チェックできるように、「プレトレーニング」と呼んでいるサービスやインターネットを利用したWeb Q&Aなどの情報提供を行っています。

2. プレトレーニングとは

セミナーの受講者の受講目的・スキルと提供するセミナー内容のミスマッチを解消するため、インターネットを利用して、①訓練内容の明確な提示、②セミナー受講スキルのチェック、のサービスを提供しています。

プレトレーニングは、セミナーの目的や必要なスキルを十分検討しながら、当センター指導員が自らの手で、制作しています。

セミナー受講予定者には、プレトレーニング閲覧のための、ユーザIDとパスワードが発行されます。受講者は、インターネットを利用して、セミナーを受講する前に、セミナーの内容を調べたり、受講するための事前スキルがあるかどうか等、知ることができるになっています。図1は、プレトレーニングのオープニング画面です。左端に表示されるプレトレーニングコースの一覧から、受講するセミナーのプレトレーニングを選択できるようになっています。

プレトレーニングコースの一例として、図2に『射出成形加工技術』セミナーのプレトレーニングオープニングメニュー画面を示します。画面左端に、このセミナーを受講するに当たって知っておくべき技術内容をチェックするための項目が、リストされ

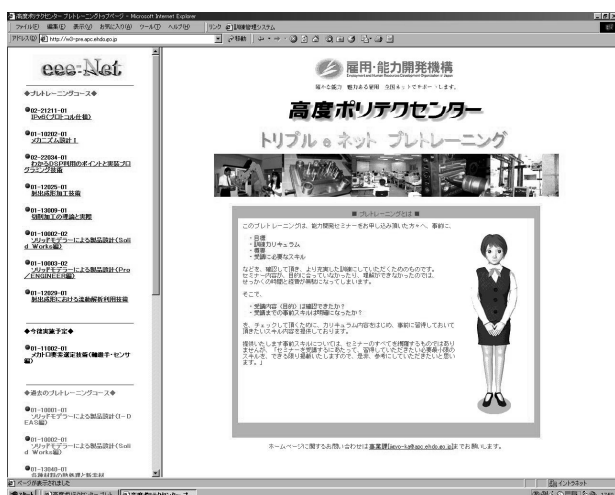


図1 プレトレーニングオープニング画面

ています。「熱硬化性と熱可塑性を知っている」など、セミナー受講者は、受講前にセミナーの内容や、前提知識などをチェックすることができるようになっています。ちなみにこの項目を選択すると、図3に示すような熱硬化性や熱可塑性に関する解説を見ることができるようになっています。

3. 平成14年度実施状況

平成14年度は、プレトレーニングとして53コースを新規に制作し、セミナー受講者には事前にインターネットを通じて見ていただきました。また、プレトレーニングを受けていただいた受講者には、セミナー受講時にアンケートに答えていただき、プレト



図2 プレトレーニングコースの一例



図3 熱硬化性と熱可塑性に関する事前チェック

レーニングの効果や有効性について調査をしています。図4、5は、プレトレーニングを受けていただいた受講者のアンケート結果を示したものです。『プレトレーニングが事前スキル確認に役立ったかどうか』では、やや有効を含めおよそ70%の受講者が有効であると回答しています。また、今後『プレトレーニングをより充実すべきか』どうかについては、80%の受講者が「充実すべきと思う」と回答しています。

セミナー受講者の受講目的とセミナー内容のミスマッチ解消のために、セミナー受講前のプレトレーニングが効果的であることが、アンケート結果からも明確に示されています。

現在、プレトレーニングは当センターで開催しているセミナーの一部についてのみ制作公開されている状況です。平成15年度も引き続き、すでに制作済みのものの更新を含め、プレトレーニングを制作、公開していく予定にしています。

プレトレーニングが事前スキル確認に役立ったか

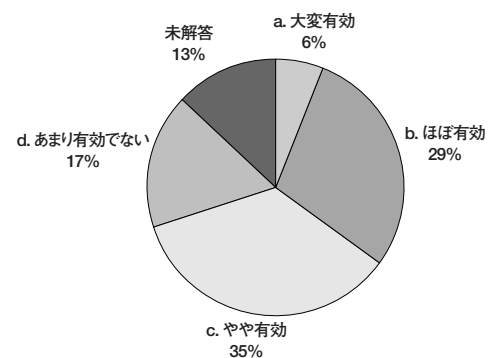


図4 プレトレーニングの有効性（アンケート）

プレトレーニングをより充実するべきか

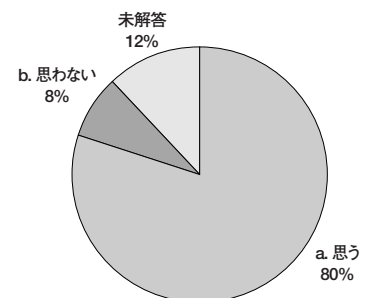


図5 プレトレーニングへの期待度（アンケート）

4. 情報提供・相談援助について

4.1 ホームページによる情報提供について

当センターのホームページ上には、セミナーや離職者訓練に関するコース案内を掲載しています。

特に、セミナー紹介コーナーではコース増設等のガイドブック未掲載分を紹介し、常に最新のコース案内ができるように心がけています。

離職者訓練紹介コーナーでは、就職担当者の方々へ訓練生の求職状況リストを公開しています。

その他、雇用開発・能力開発に係るトータルサポートを目指し、近隣の能力開発施設とホームページ上でリンクさせており、常に最新のコンテンツによるタイムリーな情報提供に努めています。

4.2 インフォメーションCDについて

広報用ツールとして平成15年度には、セミナーガイドやホームページのほか、インフォメーションCDの制作を新たに試みました。これは、名刺サイズのたる型CDの中に、全セミナーデータを収録し、検索機能や当センターホームページのリンク、次年度セミナー計画の先取りリンク先などの内容で構成されたものです。

4.3 WebによるQ & Aシステムについて

トリプルe ネット構想のe サポートの1つとして自然言語処理を用いたQ & Aシステムを導入し、平成14年度より試行を行っています。

セミナーや離職者訓練についての一般的な質問に関して答えられるようにしたものです。

当センターのホームページ上のQ & Aコーナーをクリックすると図6の「WebによるQ & Aシステム」画面に移行し、質問を入力することで最適な回答が1つだけ画面上に出てくる仕組みとなっています。

現状としては限定された分野の回答しかできませんが、内容の充実を図り、より身近なコーナーとして活用できるようにと考えています。

4.4 その他

事業主・団体等に対し教育訓練のための施設の提供や講師の派遣、その他職業能力開発の実施に関する各種の相談援助や情報の提供を行っています。

5. むすび

今回は誌面の都合で割愛しましたが、ネットトレーニングとしてWeb上で自学自習し、訓練の副教材として活用できるコンテンツを6コース分制作して

います。また、当センターからの情報発信の取り組みとしてAGネットを活用した技術情報の番組を作成し、過去3回5種類の番組を発信しました。特にAGネット番組では、放送終了後教材活用依頼が多く寄せられ、大きな反響を得ました。

今後もサービスの向上、情報発信機能の強化に取り組んでいきます。

図6 WebによるQ&Aシステム画面